

凍てつく海のおこうに

ルータ・セペティス/作 野沢 佳織/訳 岩波書店 933セ

第二次世界大戦中、ポーランドの北、バルト海に面する東プロイセンは、ドイツの支配下にありました。

戦争末期にドイツの敗戦が間近になると、ソ連軍が侵攻し、略奪や住民の迫害・虐殺が起きました。そこでドイツは傷病兵やドイツ系住民を船で逃がす「ハンニバル作戦」を実行します。

人々は生き抜くために船が出る港を目指します。飢え、寒さ、爆撃。厳しい検問。行く先々で迎える多くの死。そして、定員をはるかに超えた難民船は魚雷攻撃を受け…。

たくさんの秘密とうそと後悔を抱えた4人の若者たちの視点でつづられる、史実を基にした物語。



自習室 (試行)

冬休み期間中に、中央図書館2階の会議室を自習室として開放する予定です。詳細は図書館ホームページ等でお知らせします。
図書館ホームページ <https://www.lib.higashiyamato.tokyo.jp>
※新型コロナウイルス感染症対策のため、中止となる場合があります。

中央図書館 TEL042-564-2454

【月・土・日】午前10時～午後5時

【水・木・金】午前10時～午後7時(2階レファレンス室は午後5時まで)

桜が丘図書館 TEL042-567-2231

午前10時～午後5時

清原図書館 TEL042-564-2944

午前10時～午後5時



図書館の休館日 月(清原のみ)・火・第3木・祝日(土日と重なる場合は開館)

年末年始の休館は、12月28日(火)～1月4日(火)です。

(清原図書館は12月27日(月)から休館)

2021年 冬

この本 読んでみない？

高校生

東大和市立図書館



拝啓 パンクスノットデッドさま

石川 宏千花/作 くもん出版 91イ

高校生の晴己は、中学生の弟・右哉と古アパートで暮らしています。父親は誰か分かりません。生活費を封筒に入れて置いていっただけでめったに帰ってこない母親に代わり、生活のためにバイトに明け暮れる日々を送っています。

スマホも持ってないし、部活の暇もない。そんなギリギリの生活をおくる兄弟ですが、親代わりになって二人を世話してくれた母親の友人、しんちゃんから教わった、心の支えとなる音楽・パンクロックと、「いつか兄弟でバンドを組む」という夢があるのです。

夢は日々の大変な事を解消することはできませんが、夢があれば生きるモチベーションになることを教えてくれる作品です。作中にはたくさんのパンクの曲が出てきます。図書館でCDを探して聴いてみてください。



みつきの雪

眞島 めいり/作 牧野 千穂/絵 講談社 91マ

信州の村に住む満希の通う小学校に、都会から山村留学生の少年、行人が来ました。

留学期間の二年間を過ぎてもずっとこの村にいると言う行人と、満希は気の合う友人になっていきます。

夏、秋、冬、春… 季節はめぐり、やがてふたりは同じ高校に進学。卒業後に満希は地元で働き、行人は遠くの医大への進学を希望します。

別れの前に行人が語った、山村留学の秘めた動機とは。そして目指す未来とは。

時間を行き来しながら二人の物語は進みます。



「空気」を読んでも従わない

—生き苦しさからラクになる—

鴻上 尚史/著 岩波書店 361

この社会はどうしてこんなに息苦しいのだろう。

「個性」が大事と言われるけど、他人の視線が気になる。集団の中であまり目立つと浮いてしまう。

本音を言ったりすると、「空気読めよ」と思われてしまう。だから、本当の自分は抑えつけないと…。

でも、そんな「生き苦しい」のは、もういやだ！と感じていませんか？

「空気」って何なのかよく分からないのに、イヤな気持ちのまま、なんとなく従っているあなた。

この本では「空気」の正体を解き明かし、うまく「空気」を変えて生きていくヒントを教えてください。



妖精たちが見たふしぎな人間世界

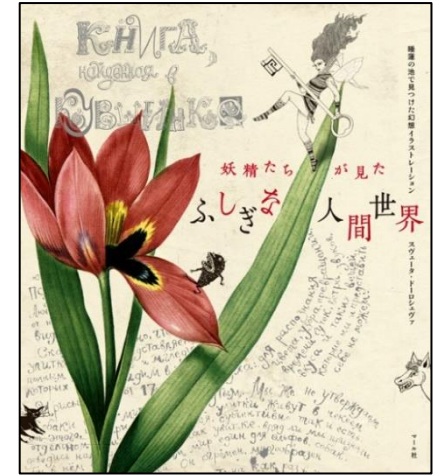
—睡蓮の池で見つけた幻想イラストレーション—

スヴェータ・ドーロシェヴァ/著 豎山 洋子/訳 マール社 726.5

たどたどしい字で書かれた手紙と極小サイズの本が出版社に届きました。それはなんと、妖精が観察したという、愛すべき「ふしぎな人間」の世界を描いた本。

妖精にとって、人間世界は空想の産物。でも、人間が実在するという証拠を、実際に人間世界をおとずれた妖精たちが文章とイラストで報告してくれます。

ウクライナの気鋭イラストレーターの描く美しく幻想的なイラストレーション画集。



宗教別 おもてなしマニュアル

—イスラム、ヒンズー、ユダヤ教……—

島田 裕巳/著 中央公論新社 160

世界にはさまざまな宗教があり、9割の人は何らかの宗教を信仰の対象にしていると言われています。

宗教には様々な決まりやタブーがあります。旅行者や実習生の方などが外国から来ますが、たいていの日本人は、『異教徒のタブー』を詳しく知りません。

“ハラール”って何？ お酒を飲めない宗教はアルコール消毒も禁止？ あいさつや食事のしきたりなど、知っておきたいポイントを解説する入門書です。

「おもてなし」は、異なる宗教に対する理解から。新書なので気軽に読めます。

